

# Introduction

この教科書は、様々な課題に英語で取り組むことを通して、みなさんの英語力を高めていくことを目指しています。この本の目的は、みなさんが英語の資格試験で高いスコアを取れるようにすることではありません。教室以外の場所で英語を使うために必要となる力をみなさんに身に付けてもらうことが目的です。

教科書を有効に活用するために、いくつかのアドバイスをさせていただきます。

まず、間違い・誤りを犯すことを恐れないことです。言語学習において、誤りを犯すことは決して悪いことではありません。言語使用に誤りがあることは「学習の過程」で起こる自然なことであるということをお覚えておいてください。2点目も誤りを恐れないことに関連していますが、ことばを使って自分以外の他者に意味を伝えることを重視してください。自分の伝えたいことを伝えるために試行錯誤すること、そして、相手が試行錯誤しているときにはそれを理解しようと努めること、この2つが言語学習においては重要です。このためには、できるだけ日本語を使わずに英語でやりとりを継続することも必要です。これが3点目です。そして、4点目として、自分が理解できないと思ったときにそれを相手に伝えることも大事です。学習者同士でやりとりする場合だけでなく、先生が言ったことが理解できないと思ったときも、そのことを伝えてください。

コミュニケーションがうまくいかない場合、それは理解する側だけの問題ではありません。話し手と聞き手が協力して解決すべき問題として捉えましょう。この教科書では、英語力を伸ばすためのサポートとして、“Getting better at it”というセクションを各ユニットに設けています。このセクションで、自分が学んだことの記録をつけること、自分にとって必要な語彙や表現、文法事項などをメモすることが、次の学習へとつながっていきます。このセクションを活用して、適宜振り返ることによって、自分が使える「装備」を増やしていきましょう。

巻末には、各ユニットで使える有用な語彙や表現がまとめてありますので、こちらもうまく活用していきましょう。さらに、各ユニットの自己評価欄が設けてあります。自分の成長を記録して定期的に振り返ることによって、自分の伸びている部分や苦手な部分を意識しながら授業に取り組むことができるでしょう。

最後に、この教科書を通じて、言語を使って課題を解決することに楽しさを覚え、そして、その過程で自分の英語力が伸びていくことを感じてもらえれば、著者一同にとってこの上ない喜びです。

著者一同

## 本書の構成

### 各ユニットについて（全 24 ユニット）：

#### 1 Getting warmed up

各ユニットの最初にあるこのセクションで、トピックの導入があつたり、トピックについて考えたりします。楽しみながら取り組みましょう。

#### 2 Getting ready

メインタスクのための準備をします。メインタスクで有用な語彙や表現を学んだり、メインタスクで必要となるスキルの練習をしたりします。

#### 3 Getting into it *The main task!*

このセクションがメインタスクであり、ユニットの中心です。本書のすべてのタスクは、意味中心で、現実世界の英語使用に沿った形で設計されています。言語を使うことを目的とするのではなく、成果を得るために言語を使うという意識で取り組みましょう。

#### 4 Getting better at it *Language focus*

振り返りは学習を進めていく上で欠かすことができないものです。このセクションでは、タスク遂行中に気づいた自分の言語能力の足りない部分であつたり、次にタスクに取り組む際に役に立つ単語や表現をメモします。空欄があるので、授業で指導された注意事項や文法、言語表現についてそのスペースにメモすることができます。

#### 5 Getting further *Extension*

このポストタスクでは、メインタスクと同じようなタスクに再度挑戦することで、メインタスクで学んだスキルや言語を活用します。または、タスクのメインテーマを発展させるような活動に取り組むユニットもあります。

#### 6 Getting it done *Wrap up*

この最後のセクションは、他の学習者との直接的なやりとりを必要としないタスクです。多くの場合、ライティング課題になっています。よって、状況に応じて授業中に行うことも、宿題として取り組むことも可能です。

### 巻末の便利素材：

#### • Self-assessment rubrics

自己評価用のルーブリックです。自己評価を通して、自身の学習を振り返り、自分の弱点や学習の進捗状況を把握したりすることができます。

#### • Useful words and expressions

それぞれのユニットのメインタスクをこなすのに便利な単語や表現が掲載されています。

## 先生方へ

この教科書は、タスクベースの言語指導（Task-based Language Teaching）の理念に基づいて編纂された教科書、『Getting Things Done [Book 1]』の続編です。タスク・ベースの言語指導とは、タスク（現実世界において起こる言語使用のプロセスを含む課題）を基盤として言語教育を考えるアプローチであり、応用言語学や第二言語習得研究において近年注目を集めています。従来型の教科書とは異なり、「覚えて、練習して、使う」というようなプロセスを経るのではなく、学習者が持つリソースを活用させながら言語能力を伸ばしていくという発想に基づいています。

Book 2は、Book 1よりも発展的なタスクを中心に構成されています。したがって、Book 1よりもレベルの高い学習者におすすめです。Book 1と同じ素材を扱っているユニットもいくつかありますが、多くの場合よりチャレンジングな内容に作り変えられています。Book 1で英語を学んだ学習者であれば、多くの課題は馴染みがあるものであり、なおかつ手順に慣れているため、より英語を使うことに集中して取り組むことができるでしょう。Book 1を体験していない学習者にとっても、すべての課題が新鮮で、彼らの学習意欲をかきたてるでしょう。

### タスクの分類について

本教科書に掲載されているのは、主に5つのタスクです。

- **情報伝達**（Conveying information: CI） Unit 1～8
- **情報合成**（Synthesizing elements: SE） Unit 9～13
- **ナレーション**（Narrating stories: NS） Unit 14, 15
- **問題解決**（Solving problems: SP） Unit 16～19
- **意思決定**（Making decisions: MD） Unit 20～24

**情報伝達型**のタスクは、自分が知っていることを相手は知らない、逆に相手を知っていることを自分は知らないという状態置かれ、その状況で自分の情報を相手に伝え、相手から自分の知らない情報を引き出すことによって何らかの発見や理解といった目的を達成するタイプのタスクです。**情報合成型**は、俯報の伝達だけではなく、パズルのピースを組み合わせるように部分的な情報を組み合わせることで一つの全体像を導き出すような課題です。**ナレーション型**はその名の通り、ストーリー性のある一連の絵や動画を見ながらその内容を知らない人に伝えるものです。**問題解決型**は、なんらかの問題状況が提示され、それらについての解答を他者と協力して導き出すものです。最後の**意思決定型**は与えられた候補の中から選択をしたり、優先順位をつけたりすることが求められます。学習者同士の多様な意見を集約し、最終的に活動に参加している全員が導き出された結論に合意することが必要です。問題解決型では基本的に答えが決まっているのに対して、意思決定型では何が正しいのかについての決まりはなく、自由な発想が許容されています。

情報伝達、情報合成、ナレーションという3つのタイプは、基本的に伝えるべき情報は何らかの形ですでに学習者に与えられています。よって、学習者はその伝え方を考えることに注力することが予想されます。一方で、問題解決型や意思決定型は学習者が自分の意見やアイデアをまず考え、その上でそれを英語で伝える必要がある分だけ比較的難易度の高い課題だといえます。したがって、初学者であれば前者の3タイプによって言語化のプロセスになれさせた上で、徐々に問題解決型や意思決定型のタスクを取り入れるように授業を計画することが推奨されます。

## ユニットの順番が指定されていないことについて

本書は、Unit 1~24 までの 24 のユニットで構成されており、便宜上ユニットに連番の番号をつけています。しかしながら、必ずしも Unit 1 から始めて Unit 24 で終わることが意図されているわけではありません。この教科書を採択された先生方に自由にタスクを選んでいただき、対象となる科目や学習者の特性も考慮しながら授業をしていただくことで、本書を最大限に活用できます。もちろん、学習者の意見も取り入れながら、彼ら・彼女らの興味関心にあったユニットを選択していただくことも可能です。

## To the teacher

The content of this book is based on the principles of task-based language teaching (TBLT). Task-based language teaching is an approach to language education that prioritizes tasks, or activities which promote the exchange of information in the target language. Tasks have received a lot of attention in recent years in the fields of applied linguistics and second language acquisition.

Unlike many textbooks up until now which follow the process of “presentation, practice, performance” (PPP), a TBLT approach aims to promote learning achievement by having students activate their own linguistic resources in meaning-focused communication.

## Concerning task types

The tasks in this book are divided into five main types.

- **Conveying information (CI)** Units 1-8
- **Synthesizing elements (SE)** Units 9-13
- **Narrating stories (NS)** Units 14, 15
- **Solving problems (SP)** Units 16-19
- **Making decisions (MD)** Units 20-24

Tasks that are of the **conveying information (CI)** type concern a situation where one learner has a piece of information that the other learner does not have. They then convey their own information, or find out the other person’s information, for the purpose of discovery or understanding, in order to complete the goal of the task. The **synthesizing elements (SE)** type of tasks not only involve conveying information, but also require different pieces of information to be combined together like pieces in a puzzle. The **narrating stories (NS)** type tasks, as the name implies, require students to tell a story from a series of pictures or a video. **Solving problems (SP)** tasks, meanwhile, concern a situation where students cooperate together in order to find a solution to some kind of problem. The final task type, **making decisions (MD)**, requires students to make a selection from a set of different options, or rank them in order of priority. To do this, they need to share all their opinions and debate together, eventually agreeing on the best course of action. While SP tasks have a definite answer that is either right or wrong, MD tasks have answers that are free and open and depend upon the particular ideas of each group.

With conveying information (CI), synthesizing elements (SE) and narrating stories (NS) type of tasks, the learners have already been given all the necessary information, in one form or another. Therefore, learners are primarily concentrating on how they will pass on that information. Tasks that involve solving problems (SP) and making decisions (MD)

are more cognitively demanding, as learners first need to think of their own opinions and ideas, and then consider how best they can express that in English. Therefore, it is recommended that lower level students first undertake the first three types of tasks, in order to get used to the process of language interaction, before gradually moving on to solving problems and making decisions type tasks.

### **Order of units**

The units in this book are grouped according to the above task types, numbered from 1 to 24. However, it is not necessary to start at Unit 1 and follow the order until Unit 24. To get the most out of this book, teachers should select the most appropriate units, taking into account the focus of the course and the needs/interests of students.

# Table of Contents

## Conveying information

<b>Unit 1</b>	Fantastic flags .....	8
<b>Unit 2</b>	Picture this scene .....	12
<b>Unit 3</b>	Putting things in place .....	16
<b>Unit 4</b>	Spot the difference .....	18
<b>Unit 5</b>	Put a name to the desk .....	20
<b>Unit 6</b>	Get your story straight .....	24
<b>Unit 7</b>	Lie through your teeth .....	28
<b>Unit 8</b>	After the quake .....	30

## Synthesizing elements

<b>Unit 9</b>	Search for something in common .....	34
<b>Unit 10</b>	Chicken pot pie .....	38
<b>Unit 11</b>	Life in a train carriage .....	42
<b>Unit 12</b>	The suspicious mother .....	44
<b>Unit 13</b>	Catch the criminal .....	46

## Narrating stories

<b>Unit 14</b>	Storytelling with cartoons .....	50
<b>Unit 15</b>	Storytelling with videos .....	54

## Solving problems

<b>Unit 16</b>	Figure out the puzzle .....	58
<b>Unit 17</b>	Figure out the relationships .....	62
<b>Unit 18</b>	Origami challenge .....	66
<b>Unit 19</b>	Japanese life satisfaction .....	68

## Making decisions

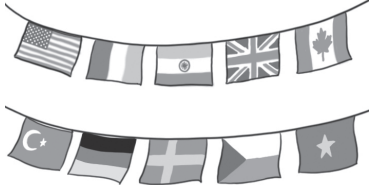
<b>Unit 20</b>	Deserted island .....	72
<b>Unit 21</b>	Amazing alumni .....	76
<b>Unit 22</b>	Group trip .....	80
<b>Unit 23</b>	Top timetable .....	84
<b>Unit 24</b>	Agony Aunt .....	88

## Appendix

Self-assessment rubrics .....	94
Useful words and expressions .....	106

# Unit 1

## Fantastic flags

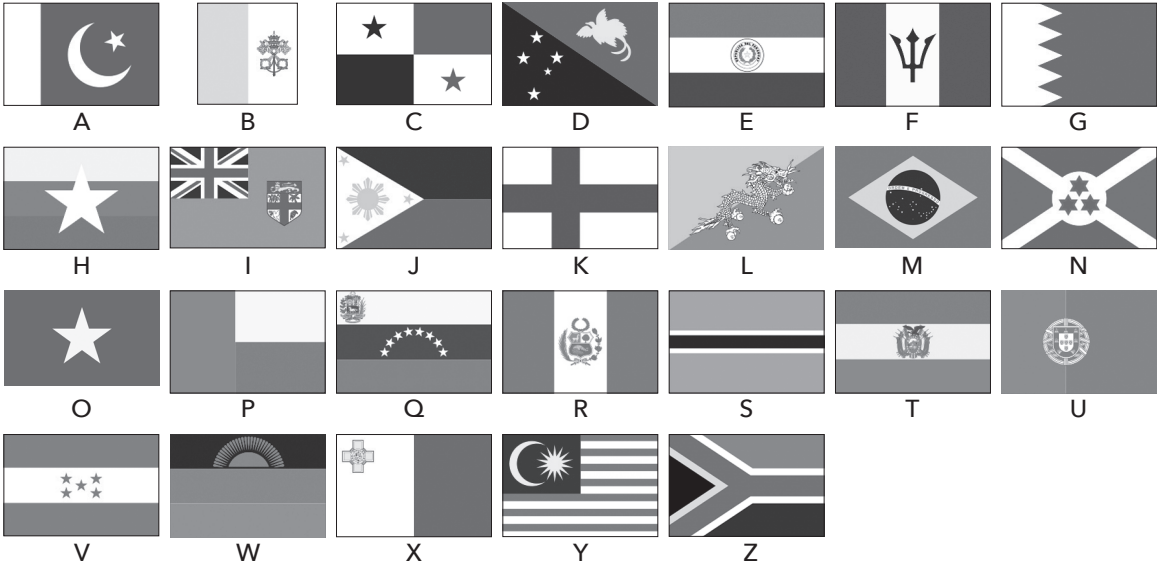


**Goal** To explain complex designs  
説明に基づいて国旗を推測する

### 1 Getting warmed up

#### Listen and spot the flag

1. The teacher is going to describe four of the national flags below. Listen carefully, take notes, and write the letter of the flag that is being described.



No.	Notes	Flag letter
1		
2		
3		
4		

2. Compare your answers with a partner.

### 2 Getting ready

#### Identify the flag

Work in a pair. Choose one of the national flags in **1 Getting warmed up** and describe it to your partner. Your partner will guess and point out the flag. When your partner guesses correctly, swap roles. How many national flags can you identify together?

Number of correctly identified flags: \_\_\_\_\_





### 3 Getting into it

#### Describe and draw

Make a group of three. Two students are the ‘directors’ and the other is the ‘drawer’.

**Directors :** Receive a picture of a national flag from the teacher. Do not show it to the drawer! Describe the picture in as much detail as possible, so that the drawer can draw it accurately.

**Drawer :** Do not look at the picture but listen carefully to the description. Draw it in the box below. The picture is a country’s national flag.

#### Points to note:

1. The directors may look at the drawer’s picture. If there are any mistakes or differences, the directors can explain how to fix them.
2. The drawer may not look at the directors’ picture. If there is something that you don’t understand, you can ask questions to the directors.
3. Both the directors and the drawer may not use gestures. Try and communicate all your questions and ideas in English.

When you have finished, compare the picture you drew with the original picture. Reflect on what was difficult, making some notes in the next section.

**Directors :** Attach your picture here.

**Drawer :** Draw the picture here.



**4 Getting better at it**

Language focus

**Reflection**

What are some words or expressions in English that were useful to complete this task?

What are some words or expressions in Japanese that you wanted to use, but couldn't?

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/>	<hr/> <hr/> <hr/> <hr/>
-------------------------	-------------------------

Notes

**5 Getting further**

Extension

**Task repetition**

1. Now, swap roles and decide the new drawer. You're going to work on the same task you did in **3 Getting into it** but with a different flag. Before that, discuss how you can improve your performance this time and take notes in the space below.

Notes

2. The new directors will receive a different picture of a national flag and follow the same procedure as **3 Getting into it**. The new drawer can draw the picture in the box below.

**Directors :** Attach your picture here.  
**Drawer :** Draw the picture here.



# Unit 9

## Search for something in common



**Goal** To find something in common with other people

他の人との共通点を見つける



### 1 Getting warmed up

**Learn about your teacher**

1. The teacher will tell you about his/her interests, hobbies, talents, habits, values, likes and dislikes, past experiences, dreams for the future, and so on. Listen carefully, and make a note below of all the things that are similar to yourself.

- 1. \_\_\_\_\_
- 2. \_\_\_\_\_
- 3. \_\_\_\_\_
- 4. \_\_\_\_\_
- 5. \_\_\_\_\_
- 6. \_\_\_\_\_

2. See how many people have something in common with the teacher, following his/her instructions.

### 2 Getting ready

**Describe yourself**

Now, think about yourself. Look at the categories below and write as many keywords as you can for each one. You can write more than one thing for each category. Only write those things which you are comfortable telling your classmates.

Background and experience	
Interests	
Likes and dislikes	
Personality	
Knowledge and special abilities/skills	
Lifestyle	
Beliefs and ambitions	
Important events in life	
Other	



**4 Getting better at it** *Language focus*

**Reflection**

What are some words or expressions in English that were useful to complete this task?

What are some words or expressions in Japanese that you wanted to use, but couldn't?

_____	_____
_____	_____
_____	_____
_____	_____

Notes

**5 Getting further** *Extension*

**Task repetition**

To get to know about more of your classmates, do the task again with a new group. Based on your experience doing the task the first time, try and make your discussion go even more smoothly, and make even more interesting discoveries about the people in your group.

Names	Things in common



授業前に必要な準備

- **1 Getting warmed up** の国旗描写を口頭で行う準備をする (**1 Getting warmed up** セクション参照)。
- **3 Getting into it** と **5 Getting further** で使う国旗をクラスの人数に合わせて (1 グループにつき国旗の絵が2枚ずつになるように) 印刷する (**1 Getting warmed up** セクションを参照)。

**1 Getting warmed up Listen and spot the flag**

- 教師が教科書 p.8 の A ~ Z の国旗のうち4つをランダムに描写します。それぞれの国旗の描写例を以下に示します。学習者のレベルに応じて適宜調整してください。
- A. On the left side is a narrow white stripe. There is a picture of a crescent moon and a star with five points. (国名: Pakistan)
- B. This flag is divided into two sections. The left section is blank, but the right section has an intricate design. This flag is the only flag here which is square. (国名: Vatican City)
- C. This flag is divided into four equal sections. The top left and the bottom right sections both have a star. (国名: Panama)
- D. There is a diagonal line running from the top left to the bottom right corner. There are five stars on the left, and a bird on the right. (国名: Papua New Guinea)
- E. This flag is divided equally into three horizontal sections. Each section is a different color. The middle section is white, and has an image in a circle. (国名: Paraguay)
- F. This flag has three vertical sections. The image in the middle looks like a fork.  
(国名: Barbados)
- G. There is a zig-zag line running vertically on this flag. The section on the left of the zig-zag line is white. (国名: Bahrain)
- H. There are three horizontal stripes in the background, and one big star in the middle.  
(国名: Myanmar)
- I. The British flag is in the top left corner of this flag, and there is a coat of arms on the right. (国名: Fiji)
- J. There is a triangle on the left of this flag. Inside the triangle are three small stars, one at each corner, and a big sun in the middle. (国名: Philippines)
- K. There is a thick cross on this flag. The horizontal line of the cross is in the middle, but the vertical line of the cross is a little left of center. (国名: Finland)
- L. This flag has a diagonal line running from the top right corner to the bottom left corner. There is a picture of a dragon in the middle. (国名: Bhutan)



## TM（教授用資料）サンプル

### 2 Getting ready Identify the flag

- ペアの片方が **1 Getting warmed up** に掲載されている A~Zの中から選んだ国旗を描写し、パートナーがどれを描写しているのかを当てる活動です。
- 正解できたら役割を交代して、制限時間内にいくつの国旗をペアで特定できるかを競い合います。制限時間は5分を目安とし、短すぎるようならやや延長するなどして調整してください。
- どうしても相手が描写している国旗を特定できない場合は、1人につき1回はパスをしてもよい、または諦めて別の国旗を描写するようにさせてもよい、などのルールを追加してもよいでしょう。
- 間違えた場合にはお手つきとしてマイナス1ポイント、のようなルールを設定すれば、闇雲に答えることを抑制することができます。
- 活動のあとに各学習者が何ポイント獲得したのかをクラス全体で確認する時間を設けましょう。そして、多くのポイントを獲得した学習者には、国旗をすばやく推測するコツ、うまく描写するコツなどを発表させれば、苦戦した学習者へのヒントにもなるでしょう。
- 描写してうまく正解した国旗には印をつけるなどして、自分とペアの相手がいくつの国旗を当てたのかがわかるようにさせるとよいでしょう。教科書巻末の self-assessment で自分とペアの相手がいくつ正解したかをメモさせる箇所があります。

### 3 Getting into it Describe and draw

- Unit 1 のメインとなる活動で、国旗の描画復元をします。
- 3人のグループを作り、そのうち2人が国旗を描写する役 (directors)、1人が国旗を描画する役 (drawer) になるようにします。3で割り切れない場合は4人グループとし、描画役を2人にします。
- **5 Getting further** で役割を変えて同じタスクを行うので、全員が directors と drawer になることを伝えると役割を決めるのがスムーズに行くでしょう。
- 3種類の中から1つの国旗を選び、グループ内の2名の directors に渡します。どの国旗を使っても構いません (残りの2枚は **5 Getting further** で使います)。
- 描画ではパーツの形状、大きさ、縦横の比率、間隔などに注意を払い、元の絵の完全な復元を目指すように学習者たちに伝えてください。
- ページ内の描画用スペースが小さすぎると感じる場合は、別紙を配って活動させ、事後にそれをページ上に貼り付けさせてください。
- 時間制限については学習者の習熟度に合わせて調整してください。目安としては、15分程度を見込んでおくとういでしょう。
- 終了後に教室を回って、よくできたグループの複製画を写真に撮ってスクリーンに提示すると盛り上がりします。特によくできた部分についてはどのような表現を使ったのか、また、うまくできていない部分についてはどのような修正が必要そうかななどをクラス全体で共有することで次の **4 Getting better at it** の振り返りにつなげることもできるでしょう。

## TM（教授用資料）サンプル

### 4 Getting better at it Reflection

- **3 Getting into it** において英語で表現できたことは英語で、英語で表現できなかったことは日本語でメモさせる振り返りのセクションです。
- 学習者たちの日本語のメモを見て、英語での表現方法を考えることがここでの先生の役割です。先生自身がすぐによい表現を思いつかなければ、辞書を使うなどして学習者たちと一緒に適切な表現を考えてみてください。そうした姿勢を学習者たちに見せることも、英語学習者のロール・モデルを示すという点で意義があります。時間がなければ、先生の「宿題」として、次の授業時に可能な表現をフィードバックすることもできるでしょう。
- 巻末にある Useful words and expressions を参考にしながら形式面の指導をおこなうこともできるでしょう。
- タスクに取り組む学習者の様子を観察しながら、多くの発話や表現に共通する誤りに焦点を当てた指導を行うことも有効でしょう。
- 学習者たちに断片的なフレーズでやり取りする傾向が見られた場合には、先生がなるべく文の形に拡張し、提示してあげてください。
- 可能な範囲で、活動中に学習者たちが用いていた表現を取り上げ、その努力や工夫を讃えつつ改善方法を示すようにしてください。

### 5 Getting further Task repetition

- **3 Getting into it** と同じ活動を、別の国旗を用い、さらにグループ内の役割を変えて行います。
- 役割が決まったら、**3 Getting into it** や **4 Getting better at it** を踏まえ、どうすれば国旗の描画複製の精度を高められるのかを話し合わせ、Notes 欄にメモさせます。話し合いを英語で行うことが難しそうであれば、この部分については日本語で話し合わせても問題ありません。
- **3 Getting into it** で使わなかった 2 つの国旗のうちの 1 枚を各グループ内の 2 名の directors に渡します。
- **3 Getting into it** でどれくらいの時間を要したのかを参考に制限時間を決めましょう。短すぎたようであれば長めに、逆に長過ぎたのであれば短めに制限時間を設定します。
- 終了したら **3 Getting into it** のときと同様にうまくできたグループの複製画をクラス全体で共有したり、少しフィードバックの時間を設けたりしてから役割を交代し、残った国旗を使ってもう一度同じタスクを繰り返します。

### 6 Getting it done Write a description

- 別のより複雑な国旗を用い、今度は書いて表現させます。書かせることで、より細部にわたる言語形式への気づきを促すことができます。
- 個人で取り組ませても、3 人のグループで協力して取り組ませてもよいでしょう。
- 個人で取り組ませる場合、それぞれに書かせたあと、お互いに書いたものを比較させるとよいでしょう。意味が伝わるかどうかを重視して、必ずしも一言一句同じ表現でなくてもよいことを伝えるとよいでしょう。

## TM（教授用資料）サンプル

- グループで取り組ませる場合は、英語が得意な学生が考えたものを丸写しするだけになる学習者がでないように注意しましょう。
- 学習者からの質問（「…は英語でどう表現しますか？」など）を積極的に募り、クラス全体で表現方法を考えるとよいでしょう。
- 授業内で時間が取れないようであれば、宿題として課すこともできるでしょう。
- 先生がすべてを添削・採点する必要はありません。その代わりに、学習者同士でピア・フィードバックをさせることをおすすめします。お互いの描写文を読み、何が良かったか、何を改善すべきかについてコメントすることが学習にも繋がります。
- この国旗は Bhutan の国旗で、以下のような表現を使って描写することができるでしょう。

[Key Vocabulary] diagonal line from top right corner to bottom left corner, top triangle (is yellow), bottom triangle (is red), (white) dragon in the middle, a dragon that looks like a snake with four legs, has feet like a bird, three claws on each foot, holding a ball in each foot, has scales, tail is on fire, mouth is open, tongue has three spikes, flame coming out from its nose, spikes along its back

### 3つの国旗の描写例

#### Nepal（ネパール）

[Key Vocabulary] two triangles, ninety degrees, long edge is top right, (blue) outline, (red) background, (white) star shape, twelve points, another smaller star shape, crescent [half circle], like a smiling mouth, the crescent covers the bottom of the star shape

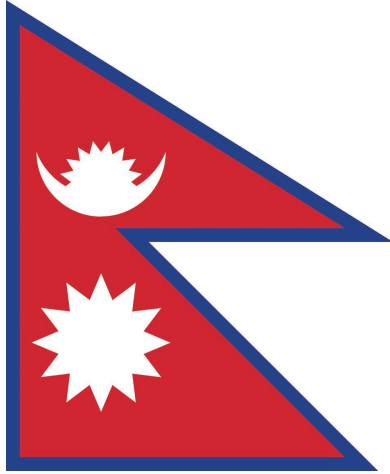
#### Kenya（ケニア）

[Key Vocabulary] three horizontal stripes, two thin (white) lines between the stripes, top stripe (is black), middle stripe (is red), bottom stripe (is green), a shield in the middle, almond-shaped, two spears behind the shield, X-shape, pointed at the top, small circle in the center of the shield, black almond shapes on the right and left of the shield, almond shape above the circle, almond shape below the circle, vertical line in the middle

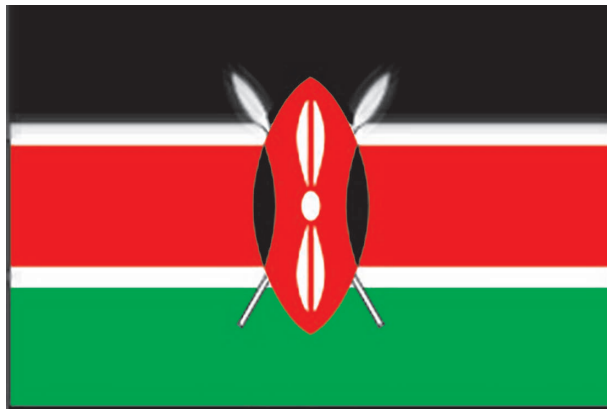
#### Kiribati（キリバス）

[Key Vocabulary] bottom half, horizontal wavy stripes, looks like the ocean, upper half, flying bird, in the center, heading towards the left, between the bird and the ocean, picture of a rising sun, sun has seventeen rays, half the sun is hidden by the ocean

STUDENT HANDOUT



Nepal



Kenya



Kiribati

## Search for something in common (教科書 p. 34)

本教科書ではこの位置 (Unit 9) に配していますが、これは新学年 (あるいはクラスのメンバーが入れ替わった新学期) の最初に行うのに適した活動です。

## 授業前に必要な準備

- **1 Getting warmed up** 自分自身のどのようなことについて話すかを考えて準備しておく。
- **2 Getting ready** で学習者が書きそうなこと (性格や興味関心など) に関する語彙のサポートができるように準備しておく。

**1 Getting warmed up** Learn about your teacher

- あとの活動で学習者たちに同じことを促すため、ご自身の過去の経験や現在の関心、趣味や特技、生活習慣、価値観、好き嫌い、将来の夢、何らかの特別なことなどについて幅広く話題にしてください。
- 難しい語は学習者のレベルに合わせて簡単な表現で説明するなど、臨機応変に対応してください。できるだけ日本語を使わず、簡単な英語で説明したり例を数多く挙げるなどして、英語のインプットを増やすことを意識してください。

**2 Getting ready** Describe yourself

- Others の欄には自分自身で特別だと思うこと、独創的なこと、人が知ったら面白いと思いきようなことなどを自由に書かせてください。その際、人に知られたくないことまで開示する必要はないことを強調してください。
- 単語がわからない場合には辞書を使わせたり、先生がサポートしたりします。

**3 Getting into it** Find things in common with your group

- 淡々と順に進んでいくプレゼンテーション的なものではなく、活発なやり取りを含む活動にすることを意識してください。
- そのため、情報は **2 Getting ready** のカテゴリごとに区切って全メンバーが情報提供し、やり取りをして共通点を確認してから次のカテゴリへと進むようにさせるとよいでしょう。

**4 Getting better at it** Reflection

- **3 Getting into it** において英語で表現できたことは英語で、英語で表現できなかったことは日本語でメモさせる振り返りのセクションです。
- 学習者たちの日本語のメモを見て、英語での表現方法を考えることがここでの先生の役割です。先生自身がすぐによい表現を思いつかなければ、辞書を使うなどして学習者たちと一緒に適切な

## TM（教授用資料）サンプル

表現を考えてみてください。そうした姿勢を学習者たちに見せることも、英語学習者のロール・モデルを示すという点で意義があります。時間がなれば、先生の「宿題」として、次の授業時に可能な表現をフィードバックすることもできるでしょう。

- 巻末にある Useful words and expressions を参考にしながら形式面の指導をおこなうこともできるでしょう。
- タスクに取り組む学習者の様子を観察しながら、多くの発話や表現に共通する誤りに焦点を当てた指導を行うことも有効でしょう。
- 学習者たちに断片的なフレーズでやり取りする傾向が見られた場合には、先生がなるべく文の形に拡張し、提示してあげてください。
- 可能な範囲で、活動中に学習者たちが用いていた表現を取り上げ、その努力や工夫を讃えつつ改善方法を示すようにしてください。

### 5 Getting further Task repetition

- **3 Getting into it** と同じ活動を繰り返すことにはなりますが、学習者たちは違うグループでそれぞれ新たな情報にふれ、新しい発見をすることになるので、学習者たちが飽きてしまうことを心配する必要はないはずです。

### 6 Getting it done Write a report

- この課題は宿題として課すこともできます。
- 報告の媒体には学校でお使いの LMS や Google Spreadsheets などを使うとよいかもしれません。そうすれば学習者たちは書き込まれた内容をいつでも自発的に読んで楽しむことができます。